

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 05030030

政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	7	介護保険事業会計	【全体計画内容】 ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	7	高齢者支援の充実	事業優先度		B	
単位施策	1	地域包括ケアの推進	政策事務分類	4	法定自治事務	
事業名	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定事業					
事業期間	平成26年度～平成29年度					
事業主体	雄武町					
事業指標	計画の策定					
事業目標	26年度、29年度					
住民参加	有					
住民協働	有					
			見直し年度			
			担当課	5	保健福祉課	
			関係課	6	地域包括支援センター	
					#N/A	
			ハード/ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
			関係例規・法令名	有	介護保険法・老人保健法	
			関係個別計画名			

		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
全体計画		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
計画内容	○高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の策定を行う。 ※ 3年毎見直し		第7期高齢者保健福祉計画及び第6期介護保険事業計画策定事業 ・策定委員会委員報酬 ・策定業務委託			第8期高齢者保健福祉計画及び第7期介護保険事業計画策定事業 ・策定委員会委員報酬 ・策定業務委託	
	事業費(千円)	6,696	0	3,348	0	3,348	
計画事業費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	6,696		3,348		3,348	
実績事業費	事業費(千円)	3,228	0	3,228	0	0	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	その他	3,228		3,228			
関連事項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	【評価・実績】		※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	
	前期計画からの継続	年度目標値		計画の策定		計画の策定	
	第6期計画への継続	年度達成率	#DIV/0!	96%	#DIV/0!	#DIV/0!	0%
		全体達成率	0%	48%	48%	48%	48%
	事業進捗状況		☆☆☆☆				

事業名	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定事業	評価者 管理職 職氏名	保健福祉課長	豊田 通敏
		評価者 作成者 職氏名	保険給付係長	川口 敦史

様式1
平成26年度実施
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町の高齢者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定	
【抱える課題やニーズは】	的確な現状把握に基づく、総合的な高齢者施策計画の策定が求められる。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	高齢者施策や介護保険施策の一層の充実を図るため、その指標となるべき計画を策定する。	① 計画の策定	目標年度	平成26年度
			目標値	1式
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	計画に基づく総合的な高齢者施策推進により、住み慣れた地域でいつまでも心身ともに健やかに暮らせる町づくりを目指す。	②	実績値	1式
			達成度	100.0%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	①策定委員会の設置	各関係機関や学識経験者など9名からなる策定委員会を設置し、行政側からの計画案を基に具体的に審議いただいた。		
	②計画書作成	策定委員会での意見を反映しつつ、計画策定のノウハウがある専門業者へ製本等を委託し、計画書を作成した。各関係機関や関係者に配布するとともに全戸配布用の概略版の作成も行った。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画(3年を1期)は、それぞれ老人福祉法及び介護保険法に基づき計画策定が義務付けられているため、平成27年度から29年度を計画期間とする雄武町高齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画を策定する必要
必要/概ね必要	<input checked="" type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	被保険者数・要介護認定者数の推計、サービス利用者数の推計、サービス供給量の推計、保険料の算定等に際し、様々なデータを詳細に分析することで精度の高い計画策定を行えた。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

必要	<input type="checkbox"/>	判断の理由	計画の策定にあたり、執筆業務や製本業務のノウハウがある専門業者に委託したところであるが、コストに見合った充実した計画書が完成した。
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

必要	<input type="checkbox"/>	判断の理由	本計画は、高齢者の生活全般にかかる総合的な計画になっている。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
今後の高齢者施策や介護保険施策の指標となるものであり、計画どおり策定されたことにより目標が達せられた。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
3年毎に行われる高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画については、より高齢者の実態に即した施策を計画的に実現していくためには必要不可欠である。また、法律で策定が義務付けられていることから今後も継続してい		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止